

社会福祉事業 令和3年度 決算報告

単位：千円

科目		就労継続支援A型						就労継続支援B型						介護系（相談含む）						グループホーム					
		1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率
就労支援事業等収支	収入	59,028	49,609	84%	260,658	245,604	94%	8,078	9,851	122%	30,282	30,890	102%												
	①収入計	59,028	49,609	-	260,658	245,604	-	8,078	9,851	-	30,282	30,890	-												
	支出	24,254	20,991	87%	110,091	100,493	91%	1,869	2,024	108%	10,184	10,668	105%												
	材料費	24,254	20,991	87%	110,091	100,493	91%	1,869	2,024	108%	10,184	10,668	105%												
	労務費（社員等）	27,819	27,346	98%	114,374	113,811	100%	2,953	4,531	153%	11,061	12,206	110%												
	事業経費	12,131	12,079	100%	51,502	48,721	95%	1,792	2,031	113%	6,884	6,547	95%												
②支出計	64,204	60,416	-	275,967	263,025	-	6,614	8,586	-	28,129	29,421	-													
③収支差額小計（①-②）	-5,176	-10,807	-	-15,309	-17,421	-	-1,464	-1,265	-	-2,153	-1,469	-													
福祉事業等収支	収入	39,528	40,385	102%	171,862	175,387	102%	18,834	22,937	122%	71,216	90,923	128%	43,315	36,502	84%	171,103	156,494	91%	27,391	28,086	103%	113,492	111,694	98%
	④収入計	39,528	40,385	-	171,862	175,387	-	18,834	22,937	-	71,216	90,923	-	43,315	36,502	-	171,103	156,494	-	27,391	28,086	-	113,492	111,694	-
	支出	27,833	30,885	111%	109,397	101,932	93%	9,882	13,023	132%	39,356	43,291	110%	25,110	23,802	95%	99,964	85,340	85%	16,677	20,585	123%	65,634	75,708	115%
	人件費（職員等）	27,833	30,885	111%	109,397	101,932	93%	9,882	13,023	132%	39,356	43,291	110%	25,110	23,802	95%	99,964	85,340	85%	16,677	20,585	123%	65,634	75,708	115%
	運営管理費	8,438	11,297	134%	35,461	35,727	101%	3,610	3,408	94%	15,615	14,233	91%	10,774	10,701	99%	44,296	41,961	95%	10,156	11,336	112%	40,514	38,891	96%
	⑤支出計	36,271	42,182	-	144,858	137,659	-	13,492	16,431	-	54,971	57,524	-	35,884	34,503	-	144,260	127,301	-	26,833	31,921	-	106,148	114,599	-
⑥収支差額小計（④-⑤）	3,258	-1,797	-	27,004	37,728	-	5,342	6,506	-	16,245	33,399	-	7,432	1,999	-	26,843	29,193	-	559	-3,835	-	7,344	-2,905	-	
⑦収支（③+⑥）	-1,919	-12,604	-	-11,695	20,307	-	-6,806	7,771	-	-18,398	34,868	-	-7,432	1,999	-	-26,843	29,193	-	559	-3,835	-	7,344	-2,905	-	

単位：千円

科目		事業所 合計					
		1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率
就労支援事業等収支	収入	67,106	59,460	89%	290,940	276,494	95%
	①収入計	67,106	59,460	-	290,940	276,494	-
	支出	26,123	23,015	88%	120,275	111,161	92%
	材料費	26,123	23,015	88%	120,275	111,161	92%
	労務費（社員等）	30,772	31,877	104%	125,435	126,017	100%
	事業経費	13,923	14,110	101%	58,386	55,268	95%
②支出計	70,818	69,002	-	304,096	292,446	-	
③収支差額小計（①-②）	-3,712	-9,542	-	-13,156	-15,952	-	
福祉事業等収支	収入	130,101	128,873	99%	531,802	538,292	101%
	④収入計	130,101	128,873	-	531,802	538,292	-
	支出	88,167	96,038	109%	349,014	335,387	96%
	人件費（職員等）	88,167	96,038	109%	349,014	335,387	96%
	運営管理費	39,104	42,134	108%	160,388	154,416	96%
	⑤支出計	127,270	138,172	-	509,402	489,793	-
⑥収支差額小計（④-⑤）	2,831	-9,299	-	22,400	48,499	-	
⑦収支（③+⑥）	-881	-18,841	-	9,244	32,547	-	

本部 令和3年度 決算報告

室長：清水 良憲、五十嵐 貴之

単位：千円

科目			就労継続支援A型						就労継続支援B型						介護系（相談含む）						グループホーム					
			1-3月予算	1-3月執行	第1四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第1四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第1四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第1四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率
就労支援事業等収支	収入	事業収入																								
		①収入計																								
	支出	材料費																								
		労務費（社員等）																								
		事業経費																								
		②支出計																								
③収支差額小計（①-②）																										
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入																								
		④収入計																								
	支出	人件費（職員等）																								
		運営管理費																								
		⑤支出計																								
		⑥収支差額小計（④-⑤）																								
⑦収支（③+⑥）																										

科目			事業所 合計						
			1-3月予算	1-3月執行	第1四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	
就労支援事業等収支	収入	事業収入							
		①収入計							
	支出	材料費							
		労務費（社員等）							
		事業経費							
		②支出計							
③収支差額小計（①-②）									
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	1,033	963	93%	4,131	3,794	92%	
		④収入計	1,033	963	-	4,131	3,794	-	
	支出	人件費（職員等）	8,666	7,743	89%	34,663	29,116	84%	
		運営管理費	6,126	5,392	88%	24,503	23,594	96%	
		⑤支出計	14,792	13,135	-	59,166	52,710	-	
		⑥収支差額小計（④-⑤）		-13,759	-12,172	-	-55,035	-48,916	-
⑦収支（③+⑥）		-13,759	-12,172	-	-55,035	-48,916	-		

本部 令和3年度 事業報告

室長：清水 良憲、五十嵐 貴之

	総務室	財務室	企画事業室
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 働きやすい環境を整えるために就業規則等、規定の見直しを行う。 ② 各委員会の見直しを行う。 ③ 職員としてなるべき姿を明確化し、職種別のキャリアアップ制度の見直しを行う。 ④ 事業所ごと職種毎の定数を定めそれに応じた求人活動・人材確保を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 不採算部門についての整理や、新たなサービスへ向けての取り組みを進め、計画的な施設整備や処遇改善を行う。 ② 報酬改定等の加算や制度について勉強会を行い、各事業所の財務状況の分析及び結果を活用し、収支改善を行う。 ③ 四半期ごとの未収金、未払い金の入力を徹底し、最終的に毎月行い常に正確な数字を把握できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 支援の質の向上及び障害福祉サービス等の制度・基準を正しく理解をするための勉強会を実施する。 ② 各事業所において自立した日常生活や就労に必要な課題を把握し利用者にあった適切なサービスが行えるよう、統一したアセスメントの活用促進及び活動プログラムの見直しを行う
令和3年度の取組・状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員の処遇改善を図るため手当や基本給等、就業規則の改定を行った。 ② 10月に虐待防止全体委員会及び苦情解決全体委員会を開催した。4月に食品衛生委員会、就労継続支援A型スコア勉強会を立ち上げた。 ③ 介護福祉士等、必要な資格が何なのかを明らかにし、それに基づいた、給与規程や資格取得支援助成金支給規程の見直しを行った。また、法人の倫理綱領等を用いて職員のなるべき姿を示した。 ④ 各事業所の平均利用者数の実績から必要な職員配置基準を算出し、定数を確定させた。また、新卒採用者は2名となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各事業所の意見を聞き、第3四半期の執行状況を見て、1月から予算ヒアリング時に具体的な修繕計画を作成した。処遇改善手当の支給について統一した評価を行い、4月に一時金として支給を行った。また、2月より福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金が新たに追加され、国からの実施要綱に基づき処遇の改善を行っている。 ②A型スコア向上のための勉強会を7回行い、加点に必要な、他法人の就労継続支援A型事業所の訪問、就業規則の変更を行った。結果として、基本報酬の単価を丸岡南中事業所が2ランク、おくえつ・あわら事業所は1ランク上げることができ、給付費収入の増加(前年比約280万円増)に繋げることが出来た。 ③四半期ごとに未収未払いの入力計上を行い、予算や前年度との比較を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 10月23日、11月6日の職員全体研修で支援や障害福祉サービスの制度について勉強会を行った。 ② 毎月サービス管理責任者連絡会を開催し、各事業所のアセスメント及び活動プログラムについて情報共有した。また、毎月支援力向上委員会を開催し、各事業所の取り組み報告を実施した。その際にサービスの活動の内容を共有した。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 職務に応じた適正な処遇にするため、給料表の見直しの検討を行う。 ② 虐待防止全体委員会を開催し、全事業所の虐待が疑われる案件や虐待の芽となる事案を共有し法人全体で改善に向けて取り組む。また、社会情勢に応じた広報活動や業務におけるIT化の推進を行うことを目的とし、IT委員会を設置する。 ③ 職種別のキャリアアップ制度を検討する。 ④ 働きたいと思われるよう、魅力ある制度・規程等に見直す。また、その情報発信を行い、引き続き求人活動を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 福井事業所の全サービス、若狭事業所のA型事業(営農等)丹南事業所A型事業について継続する場合、具体的にどのようにするのか、また、B型に移行するのか等、各事業所と協議し方向付けを行う。【年内】 ②A型について令和5年度の基本報酬単価増額を目指し、令和4年度の実施目標を立て実行する。 ③引き続き、四半期ごとの未収未払いの計上を徹底し、昨年度や予算と比較しながら適正に予算を執行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 引き続き職員全体研修会で勉強会を実施する。 ② サービス管理責任者連絡会でアセスメントや活動プログラムの見直しを継続する。また、支援力向上委員会において、各サービスのマニュアル作成等、どの事業所の、どのサービスにおいても適切なサービス提供が行えるよう取り組む。

福井事業所 令和3年度 決算報告

所長：松浦 満夫 単位：千円

科目		就労継続支援A型						就労継続支援B型						介護系（相談含む）						グループホーム						
		1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	
就労支援事業等収支	収入	事業収入	4,837	5,346	111%	20,350	22,271	109%																		
		①収入計	4,837	5,346	-	20,350	22,271	-																		
	支出	材料費	1,935	1,882	97%	8,014	7,438	93%																		
		労務費（社員等）	3,022	3,415	113%	12,395	13,998	113%																		
		事業経費	1,441	1,703	118%	5,767	5,802	101%																		
		②支出計	6,398	7,000	-	26,176	27,238	-																		
	③収支差額小計（①-②）	-1,561	-1,654	-	-5,826	-4,967	-																			
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	3,350	4,683	140%	14,500	18,571	128%							11,841	7,649	65%	42,620	36,248	85%	1,700	2,175	128%	10,960	7,623	70%
		④収入計	3,350	4,683	-	14,500	18,571	-							11,841	7,649	-	42,620	36,248	-	1,700	2,175	-	10,960	7,623	-
	支出	人件費（職員等）	2,372	3,137	132%	9,335	11,212	120%							7,150	6,979	98%	27,768	25,314	91%	2,696	2,832	105%	10,783	12,093	112%
		運営管理費	936	927	99%	3,747	3,552	95%							3,974	4,149	104%	15,992	16,133	101%	1,732	1,338	77%	6,522	4,735	73%
		⑤支出計	3,308	4,064	-	13,082	14,764	-							11,124	11,128	-	43,760	41,447	-	4,428	4,170	-	17,305	16,828	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	42	619	-	1,418	3,807	-							717	-3,479	-	-1,140	-5,199	-	-2,728	-1,995	-	-6,345	-9,205	-
	⑦収支（③+⑥）	-1,519	-1,035	-	-4,408	-1,160	-							717	-3,479	-	-1,140	-5,199	-	-2,728	-1,995	-	-6,345	-9,205	-	

科目		事業所 合計						
		1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	
就労支援事業等収支	収入	事業収入	4,837	5,346	111%	20,350	22,271	109%
		①収入計	4,837	5,346	-	20,350	22,271	-
	支出	材料費	1,935	1,882	97%	8,014	7,438	93%
		労務費（社員等）	3,022	3,415	113%	12,395	13,998	113%
		事業経費	1,441	1,703	118%	5,767	5,802	101%
		②支出計	6,398	7,000	-	26,176	27,238	-
	③収支差額小計（①-②）	-1,561	-1,654	-	-5,826	-4,967	-	
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	16,891	14,507	86%	68,080	62,442	92%
		④収入計	16,891	14,507	-	68,080	62,442	-
	支出	人件費（職員等）	12,218	12,948	106%	47,886	48,619	102%
		運営管理費	6,642	6,414	97%	26,261	24,420	93%
		⑤支出計	18,860	19,362	-	74,147	73,039	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	-1,969	-4,855	-	-6,067	-10,597	-
	⑦収支（③+⑥）	-3,530	-6,509	-	-11,893	-15,564	-	

	就労継続支援A型	生活介護	グループホーム
事業計画	<p>① アセスメントを見直し適切なサービスへの利用者の移行を行う。</p> <p>② 職員だけでなく利用者も衛生意識向上のための勉強会を行うとともに、温度管理や記録等すべての作業において利用者が中心となれるよう個別支援計画を見直す。</p>	<p><生活介護></p> <p>① アセスメントから何が適切な活動かを見極めるとともに、利用者個人の選択により生産活動を活動プログラムに取り入れ、それぞれの課題を設定し、充実した個別の支援プログラムを作成する。</p> <p>② 活動プログラムの情報を関係機関（特別支援学校・行政・相談支援事業所等）に訪問し伝えることで利用者増を図る。</p> <p><日中一時></p> <p>① 利用したいと提供いただけるパンフレットの作成及び配布を行い、利用者を確保する。</p> <p>② 現在の利用者特性にあった支援プログラムを作成し、利用回数増に繋げる。</p>	<p>① 利用者に応じた適切なサービスへの移行を行う。また、自立に向けた個別支援プログラムをアピールし、他事業所の利用者の受け入れを促進する。</p> <p>② 定期的な避難訓練および夜間や職員のいない時を想定した避難訓練を実施することで災害への対策を充実させる。</p>
令和3年度の取組・状況	<p>①2名に対し、本人・保護者に一般就労の支援を進めた。1名については、一般就労への実習も12月に実行したが、就労には結びつかなかった。もう1名に関しては希望条件が厳しく、年度末に実習につながった。他に、最低賃金除外の相談を1名行い、保護者の同意を得て実施済み。</p> <p>②温度管理記録簿、消耗品管理・補充、在庫管理等の職員中心の業務を、衛生管理や業務の勉強会等実施（下半期3回）の上、利用者で行えるよう順次シフト変更した。定着まで支援が必要な利用者（5名）に対して個別支援計画を見直し、個々の能力に合わせた目標を再設定して改善した。</p> <p>・主事業の食品製造収入が、20,094（千円）で、予算比98.7%と未達であった。年度後半、受注弁当数が増加している。（当初比7%）</p> <p>・年度計画（予算）の一般就労移行ができず利用者減がなかったことで、給付費収入、受託収入等が、当初予算比8,170（千円）増となった。</p>	<p><生活介護></p> <p>① 利用者の個人選択、参加意欲を重視して再アセスメントを行い、全員の個別支援計画を見直した。結果、生産活動や創作文化活動などの参加メンバーを拡大し、生活介護の特色づくりが進んでいる。</p> <p>② 特別支援学校への活動プログラム情報提供、勉強会（4回）を進めたことから、次年度の高等部3年生の実習予定が2名となる。</p> <p><日中一時></p> <p>① 生活介護と連携した活動プログラムへの展開が進んでいないため、パンフレットは作成中である。</p> <p>② 利用者個々の相談から支援プログラムを見直し、土曜日利用の拡大など利用回数増につながった。（年間20日程度。給付費16万程度増加。）</p> <p>・R2年度末からのコロナ禍、サービス見直し等の影響からの生活介護利用終了（退所）のため、当初予算との介護給付費収入の乖離が大きくなった。予算比△6,315（千円）。</p>	<p>① 上半期で利用者移動が一区切りつき、グリーンハウス一本化で支援を展開中である。下半期に法人内事業所と連携して個別支援の充実をアピールして、新規利用者1名が入寮する。</p> <p>② 冬期積雪時の寮生の自主的な除雪活動など防災意識強化は進んでいる。2、3月に火災避難訓練、土砂災害時の拠点への避難訓練を各1回実施済みである。</p> <p>・入居利用者の再編により、訓練給付費収入が、予算比の△3,558（千円）となる。</p> <p>・みどり寮は休止（10月）を経て、3月で廃止し、建物は家主に返還。賃貸契約終了。</p>
今後の取組み	<p>・相談支援専門員、行政等と連携し、一般就労や就労B型など利用者『本人』にとって適切な環境（サービス）移行への支援を進める。</p> <p>・法人の食品衛生管理マニュアルにそって、社員の作業環境の改善と効率化を進める。利用者個々の作業手順書を見直し、実行・評価・改善ができる仕組みをつくる。</p> <p>・昼食弁当を柱に、四半期毎に弁当関連の2品目以上の商品開発（昼新メニュー、丼、夕食おかず、仕出し弁当等）を進め、弁当販売網をベースに販売促進を行う。毎月、進捗管理と再評価を行い、前年同月比 売上8%アップを達成する。</p>	<p><生活介護></p> <p>・受注、木工、絵画等の生産・表現活動では、支援方法や成果確認を具体化して毎日継続的に行い、活動参加に応じた工賃支給対象者を増やす。さらに、活動展開をPRして新規利用確保につなげる。</p> <p>・多様な利用者に応じた活動環境の見直しを進め、作業中心・表現・健康支援等のエリアを明確にする。利用者が「頑張る場面」「心安らぐ場面」等理解しやすい環境に向けて、現施設内で配置改造を行い、利用率の増加につなげる。（改修不要）</p> <p><日中一時></p> <p>・隣接の特別支援学校と連携し、パンフレット配布など新規利用者の確保の取組みを進める。</p>	<p>・法人内事業所、相談事業所との連携、アピールにより、自宅からの自立をめざす利用者と家族の相談につなげていく。給付費制度を活用した体験利用を積み重ねて正式な利用につなげる。（目標：新規2名以上）</p> <p>・全利用者の支援目標を元に個人毎の具体的な行動プランを作成する。（健康活動、掃除洗濯、金銭管理の生活力のアップ、調理経験、芸術活動、免許取得等）。スモールステップで本人と共に成果確認しながら、見直し・実行を繰り返す。</p>

若狭事業所 令和3年度 決算報告

所長：早佐古 達也 単位：千円

科目		就労継続支援A型						就労継続支援B型						介護系（相談含む）						グループホーム						
		1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	
就労支援事業等収支	収入	事業収入	24,418	18,160	74%	105,611	96,257	91%	925	1,359	147%	3,591	4,095	114%												
		①収入計	24,418	18,160	-	105,611	96,257	-	925	1,359	-	3,591	4,095	-												
	支出	材料費	12,341	10,131	82%	55,015	50,824	92%	3	33	1100%	60	94	157%												
		労務費（社員等）	8,156	7,917	97%	32,624	33,965	104%	594	938	158%	2,376	2,577	108%												
		事業経費	4,525	3,275	72%	20,208	16,029	79%	270	282	104%	1,080	1,393	129%												
		②支出計	25,022	21,323	-	107,847	100,818	-	867	1,253	-	3,516	4,064	-												
	③収支差額小計（①-②）	-604	-3,163	-	-2,236	-4,561	-	58	106	-	75	31	-													
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	11,174	9,617	86%	45,623	48,566	106%	4,270	5,814	136%	17,403	21,330	123%	8,533	7,589	89%	33,847	32,154	95%	14,139	13,470	95%	55,655	55,178	99%
		④収入計	11,174	9,617	-	45,623	48,566	-	4,270	5,814	-	17,403	21,330	-	8,533	7,589	-	33,847	32,154	-	14,139	13,470	-	55,655	55,178	-
	支出	人件費（職員等）	8,796	8,091	92%	35,182	29,567	84%	2,774	3,348	121%	11,096	10,190	92%	5,067	4,175	82%	20,266	15,683	77%	6,757	10,531	156%	27,027	33,423	124%
		運営管理費	2,408	2,379	99%	9,744	8,340	86%	714	790	111%	2,856	2,507	88%	1,767	1,971	112%	7,072	7,026	99%	4,549	5,561	122%	18,145	18,568	102%
		⑤支出計	11,204	10,470	-	44,926	37,907	-	3,488	4,138	-	13,952	12,697	-	6,834	6,146	-	27,338	22,709	-	11,306	16,092	-	45,172	51,991	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	-30	-853	-	697	10,659	-	782	1,676	-	3,451	8,633	-	1,700	1,443	-	6,509	9,445	-	2,834	-2,622	-	10,483	3,187	-
	⑦収支（③+⑥）	-634	-4,016	-	-1,539	6,098	-	840	1,782	-	3,526	8,664	-	1,700	1,443	-	6,509	9,445	-	2,834	-2,622	-	10,483	3,187	-	

科目		事業所 合計						
		1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	
就労支援事業等収支	収入	事業収入	25,343	19,519	77%	109,202	100,352	92%
		①収入計	25,343	19,519	-	109,202	100,352	-
	支出	材料費	12,344	10,164	82%	55,075	50,918	92%
		労務費（社員等）	8,750	8,855	101%	35,000	36,542	104%
		事業経費	4,795	3,557	74%	21,288	17,422	82%
		②支出計	25,889	22,576	-	111,363	104,882	-
	③収支差額小計（①-②）	-546	-3,057	-	-2,161	-4,530	-	
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	38,116	36,490	96%	152,526	157,228	103%
		④収入計	38,116	36,490	-	152,526	157,228	-
	支出	人件費（職員等）	23,393	26,145	112%	93,571	88,863	95%
		運営管理費	9,438	10,701	113%	37,816	36,441	96%
		⑤支出計	32,831	36,846	-	131,387	125,304	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	5,286	-356	-	21,139	31,924	-
	⑦収支（③+⑥）	4,740	-3,413	-	18,978	27,394	-	

	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護・相談支援	共同生活援助
事業計画	<p>① 営農部門の事業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3事業所連携して年間作付け計画を作成し機械の受け渡し等効率よく作業を行う ・農地管理の徹底を行い生産性向上(管理者が3回/週定期巡回を行う。) ・苗や肥料の材料費管理(在庫管理簿の記入、仕入先の選定) ・機器類の確実なメンテナンスを行い修繕費削減(運行記録簿・定期的メンテナンス) ・今後の方向性の検討 <p>② 取引先の見直しや営農部門の野菜生産強化で原価率を下げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品加工原価率 39%(今年度40%)約400千円削減 ・ペーカリー原価率 45%(今年度48%)約500千円削減 	<p>① 新規作業の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パン・コンビニ商品の販売 <p>販売先増で目標売上17,000円/日(現在15,000円/日)</p> <p>② レクリエーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても感染予防を行い、週1回のレクリエーションに加えて、所外活動を行う(1回/月)。 	<p>【生活介護】</p> <p>① 個別活動のさらなる充実</p> <p>箸の使い方の支援や文字練習、トイレ訓練等、生活面の自立に向けた活動を増やす。</p> <p>② 健康維持活動</p> <p>身体機能向上を目的に、理学療法士等のアドバイスをもらいながら根拠のある室内運動を活動に取り入れる。また、施設周辺のゴミ集め兼ウォーキング運動を行い、地域貢献も行う。</p> <p>【相談支援】</p> <p>① 相談支援事業利用契約者数の拡大(50件→60件/年)</p> <p>② 新規地域資源の開拓 (3件/年)</p>	<p>① 相談支援専門員・入所施設と情報共有(1回/月)をし、重度・高齢者に合ったサービスへの移行を行う(令和3年度中に3名移行を目標とする)。</p> <p>② 世話人の支援力向上、支援の統一のために世話人会議内で毎回、在籍生士の障害特性や支援方法、パニック時の対応についての勉強会を行う。また、個別支援計画をデスク周りに設置し確認しながら支援を行う。</p>
第3四半期の取組・状況	<p>① 営農部門の事業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営農3事業所で年間計画を作成しスムーズな機械の受渡しができる。 ・管理者の巡回は農繁期以外は週1回程度となった。 ジョカ…R2年度5.3俵/1反→R3年度5.5俵 ハエゼン…R2年度5.6俵/1反→R3年度6.3俵 ・年2回肥料等の在庫管理を行った。 ・農機械は使用後運行記録簿を記入した。刈払機は週1回メンテナンス実施。 <p>② 取引先の見直しや営農部門の野菜生産強化で原価率を下げる</p> <p>【食品加工】</p> <p>営農部門と連携して野菜を購入した。一度に使い切れない大根は漬物等し野菜の外注を削減したが、材料費高騰等もあり原価率41%と目標原価率39%達成には至らなかった。</p> <p>【ペーカリー】</p> <p>原価率49%と前年度から1%上がり目標原価率45%に至らなかった。原因としてヤマザキの冷生地等の値上がりが見られる。</p> <p>③ その他</p> <p>【コンビニ】</p> <p>年度前半でわかさ寮とコインランドリー一定額使い放題を試験的に実施した。実施した感想として「一般家庭で使い放題は必要ないかも、雨が多い月以外必要ない、継続して利用する場合に毎月店舗に代金を払いに行くのに手間がかかる」と厳しい意見だった。特にサブスクの最大利点の契約継続の運用方法を定める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月末にコロナが発生してから来客数が大幅に減少し現在も回復していない。 	<p>① 新規作業の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パン・コンビニ商品の外販は、売上13千円/日と目標売上に達しなかった。 ・4年度に向けて畑作業を試験的に2月より利用者3名で行った。 ・地域民宿で製造している梅干しのパック詰め作業を開始した。 <p>② レクリエーションの充実</p> <p>コロナ感染が収まらなかったため、毎月の所外活動はできなかった。2回/年</p>	<p>【生活介護】</p> <p>① 個別活動のさらなる充実</p> <p>箸の使い方は、箸でスパーボール掴みを行い、文字練習は例文・単語・絵を見て文字を探し組み合わせる等の新しい活動3種取り入れた。トイレ訓練は一人ひとりのトイレ時間を予測し一人でもできるよう声掛けをしできないときは介助をしている。</p> <p>② 健康維持活動</p> <p>理学療法士が施設へ直接来所して助言をもらえなかったが書面でアドバイスをもらい、足ぶら体操・足踏み・肩甲骨の体操・ひじ回し・開眼片足立ち・スクワット等の体操を取り入れた。地域へのウォーキングは冬期は実施できなかった。</p> <p>【相談支援】</p> <p>① 相談支援事業利用契約数の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月→3月で50件→55件(新規契約7件、契約解除2件) ・行政や協議会で新規受入可能と伝えた。 ・2月から3月にかけて3件新規依頼があったがコロナの影響もあり契約が春以降に延びた。 <p>② 新規地域資源の開拓(新規5件→計8件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で、見学等もできず新規地域資源の開拓には至らなかった。 	<p>① 高齢者1名がサービス付高齢住宅への移行が第2四半期で完了した。</p> <p>重度高齢者1名については他法人入所施設での入寮体験計画まで話が進んだ。また、地域包括支援センターや老人介護施設とも情報共有し空所・体験入所の連絡がもらえるようお願いしている。</p> <p>残り1名については未だ動けていない。</p> <p>② 計画の在籍生士の障害特性や支援方法、パニック時の対応についての勉強会を2回/年行った。</p> <p>毎月の世話人会議では、毎回利用者全員の支援の振り返りを行い支援の統一をした。個別支援計画についても目標を立てる際に全員で話し合い見直す等で支援力向上につながった。</p>
今後の取組み	<p>① 営農部門の事業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不良地は地権者を訪問し今年度より返却もしくは1年管理を行うこととなり、約230aハナエチゼン作付けを行う。 <p>② 取引先の見直しや営農部門と生産強化で原価を下げる</p> <p>【食品加工】 材料費値上げに伴い販売価格の精査を行う。</p> <p>【ペーカリー】 ヤマザキ冷生地を減らしてオリジナル商品を増やし材料費削減する。材料費が高騰しており商品価格を見直し原価率48%を目標とする。</p> <p>③ その他</p> <p>【コンビニ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジ操作可能な社員を雇用できるよう相談支援・特別支援学校に相談する。 	<p>① 新規作業の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A型商品の配達作業を受託していく。 <p>② レクリエーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業の合間に運動機能向上のためウォーキングを行う。 	<p>【生活介護】</p> <p>① 個別活動のさらなる充実</p> <p>文字練習等継続して行う。生活の中での重要機能の指先を使う個別活動の開発。</p> <p>② 健康維持活動</p> <p>理学療法士の提案資料を見て職員が指導継続。室内にボールやマット使用し体を動かす。道具を使用の運動の考案をする。</p> <p>【相談支援】</p> <p>① 相談支援事業利用契約者数の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所利用者で別法人の相談を利用者の引継ぎを行う。 ・定期的に行政や特別支援学校を訪問し、利用希望の聞き取りを行う。 ・自立支援協議会で、児童部会にも参加し、新規利用につなげる。 <p>② 新規地域資源の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協や公民館から情報を得る。 ・協議会で他相談事業所の相談員と情報共有を行う。 	<p>① 重度高齢者1名の移行に向け、主治医と調整をしていく。(服薬調整・行動療法)</p> <p>他1名の高齢者については包括支援センター等と継続して情報共有を行っていく。</p> <p>② 世話人会議に職員・嘱託・アルバイト全員が出席し支援の統一を行う。</p> <p>継続して勉強会を行う。(3回以上/年)</p>

丸岡南中事業所 令和3年度 決算報告

所長：幅口 岳晴 単位：千円

科目		就労継続支援A型						就労継続支援B型						介護系（相談含む）						グループホーム					
		1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率
就労支援事業等収支	収入	事業収入	15,018	13,378	89%	68,713	60,352	88%																	
		①収入計	15,018	13,378	-	68,713	60,352	-																	
	支出	材料費	6,764	5,458	81%	31,478	25,309	80%																	
		労務費（社員等）	5,394	5,504	102%	22,641	22,357	99%																	
		事業経費	3,254	2,961	91%	12,974	12,320	95%																	
		②支出計	15,412	13,923	-	67,093	59,986	-																	
	③収支差額小計（①-②）	-394	-545	-	1,620	366	-																		
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	9,679	9,460	98%	39,599	39,235	99%												3,418	3,535	103%	13,827	14,474	105%
		④収入計	9,679	9,460	-	39,599	39,235	-												3,418	3,535	-	13,827	14,474	-
	支出	人件費（職員等）	6,753	6,581	97%	24,986	23,222	93%												3,057	2,808	92%	11,291	10,043	89%
		運営管理費	1,797	1,988	111%	7,991	7,769	97%												1,418	1,603	113%	5,880	6,304	107%
		⑤支出計	8,550	8,569	-	32,977	30,991	-												4,475	4,411	-	17,171	16,347	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	1,129	891	-	6,622	8,244	-												-1,057	-876	-	-3,344	-1,873	-
	⑦収支（③+⑥）	735	346	-	8,242	8,610	-												-1,057	-876	-	-3,344	-1,873	-	

科目		事業所 合計						
		1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	
就労支援事業等収支	収入	事業収入	15,018	13,378	89%	68,713	60,352	88%
		①収入計	15,018	13,378	-	68,713	60,352	-
	支出	材料費	6,764	5,458	81%	31,478	25,309	80%
		労務費（社員等）	5,394	5,504	102%	22,641	22,357	99%
		事業経費	3,254	2,961	91%	12,974	12,320	95%
		②支出計	15,412	13,923	-	67,093	59,986	-
	③収支差額小計（①-②）	-394	-545	-	1,620	366	-	
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	13,097	12,995	99%	53,426	53,709	101%
		④収入計	13,097	12,995	-	53,426	53,709	-
	支出	人件費（職員等）	9,810	9,389	96%	36,277	33,265	92%
		運営管理費	3,215	3,591	112%	13,871	14,073	101%
		⑤支出計	13,025	12,980	-	50,148	47,338	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	72	15	-	3,278	6,371	-
	⑦収支（③+⑥）	-322	-530	-	4,898	6,737	-	

丸岡南中事業所 令和3年度 事業報告

所長：幅口 岳晴

	就労継続支援A型	グループホーム
事業計画	<p>① 利用者個々の目標や課題に対してPDCAを実施し、ケース会議において職員全体で支援方法などを検討し、支援の質の向上をおこなう。(ケース会議 社員・利用者各1名1回以上)</p> <p>② 就労支援事業収入の向上を目指し、取り組みを行う。 ・学校長期休暇時の坂井市の児童クラブへの弁当販売の拡充を図るため、各長期休暇の前月までに営業を実施する。(15件(令和2年度 10件) 売上1,000千円) ・児童クラブ利用児童への直接販売ができるように児童クラブと検討をおこなっていき、試験販売を実施する。(試験販売 1ヶ所) ・今後販売できる商品の開発に取り組み試験的にイベント等で販売ができるよう取り組む。(開発商品 2アイテム)</p>	<p>① 世話人会議を開催し、障害理解を深めるための勉強会と個別支援計画についての支援提供の状況、対応、結果の確認と把握などの情報交換や共有を実施する。(2ヶ月に1回)</p> <p>② 年1回以上実施する丸岡南中事業所の社員の保護者面談時にGHの内容を説明する時間を作り、GHのことをより分かりやすいように動画などを使って説明を行い、新規利用者を確保する。(各社員1名1回)</p>
令和3年度の取組・状況	<p>① 西村氏のケース検討会を2ヶ月1回実施。1月から福井県感染拡大特別警報が出たため、1月、3月は実施することができなかった。毎月の職員会議で利用者の状況や支援状況の報告を実施し、情報の共有を行っている。</p> <p>② 児童クラブ 新規4クラブ 合計 11クラブ 276千円、先生の昼食弁当 新規3件 合計 538千円売上、合計 814千円となる。児童クラブの個別販売については、新型コロナの影響で児童クラブとの相談・交渉ができず試験販売はできなかった。 弁当、プラントで新商品6種類を販売する。また11月のあげフェスでは新規で煮あげの製造依頼があり、2日間であげご飯1,106個、煮揚げ1,075個 約634千円の売上となる。</p> <p>〈就労事業収入〉予算対比87% 主な要因として、弁当販売などで1,973千円となるが、青年の家では新型コロナウイルスの影響で青年の家の主催事業の中止や学校以外の団体客減により△7,354千円、学校給食は予定提供日数減などにより△2,980千円ととなった。 〈就労支援事業支出〉予算対比89% 主な要因としては、材料費については材料比率減(南中 43%→40% 鳴鹿 49%→45%)および売上減で△1,334千円、経費については、青年の家夕食提供がある場合に帰りのみタクシーを利用して送迎していたが、業務の見直しを行い遅出職員が送迎することなどにより△610千円となる。</p>	<p>① 世話人会議については、年6回実施予定していたが、朝勤と夕勤の世話人の日程調整がうまくいかず年4回の実施となってしまった。</p> <p>② パンレットおよび動画の作成については、計画と進捗の管理ができておらず未作成となってしまった。</p> <p>〈福祉事業等収入〉予算対比104% 主な要因としては、毎週末や祝日など実家へ帰っていた利用者が月2回の帰省となったことで利用日数が増えたため。 〈福祉事業等支出〉予算対比95% 職員の異動により1名減となったため人件費予算対比△1,248千円となる。</p>
今後の取組み	<p>① 職員の資質向上については、令和3年度では、月1回の職員会議で十分な時間が取れず検討ができなかったため、令和4年度は学校給食のない土曜日に会議を実施することで十分な時間を取り、支援の検討を行い職員間で共有する。</p> <p>② 学校給食については、食材価格の高騰による食材費増、最低賃金の上昇に伴う人件費増と生徒減少による売上減の対策として、坂井市(坂井市教育委員会)と契約単価と学校給食の新規受託の交渉を引き続き行っていく。</p>	<p>① 令和4年度も世話人会議を6回/年を予定。開催できるようにシフト調整を行う。昨年度4回/年の実績があるため、世話人のみの会議では無く、相談支援専門員や支援員を交えて障がいへの理解や支援力向上を図る。</p> <p>② パンフレット・動画作成においては計画を作成し、進捗管理を行う。また、事業所単体では難しい部分があるため、IT委員会に協力や意見を得て、パンフレット作成・動画作成を行う。</p> <p>③ 男性のグループホームが定員5名中現員5名の満床となっており男性の新規受け入れができない状況となっているため、女性のグループホーム定員7名(現員3名)と入れ替えることで男女の受け入れが可能とすることで新規利用者の確保を行っていく。</p>

おくえつ事業所 令和3年度 決算報告

所長：山品 光央 単位：千円

科目			就労継続支援A型					就労継続支援B型					介護系（相談含む）					グループホーム								
			1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率
就労支援事業等収支	収入	事業収入	7,170	7,331	102%	29,035	30,659	106%	810	611	75%	3,200	3,211	100%												
		①収入計	7,170	7,331	-	29,035	30,659	-	810	611	-	3,200	3,211	-												
	支出	材料費	1,627	1,784	110%	7,184	8,594	120%	0	0	-	0	130	-												
		労務費（社員等）	4,234	3,675	87%	16,060	15,787	98%	600	1,314	219%	2,268	2,181	96%												
		事業経費	1,303	670	51%	5,482	5,950	109%	216	233	108%	773	653	84%												
		②支出計	7,164	6,129	-	28,726	30,331	-	816	1,547	-	3,041	2,964	-												
③収支差額小計（①-②）		6	1,202	-	309	328	-	-6	-936	-	159	247	-													
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	5,634	6,488	115%	23,207	26,742	115%	4,036	4,126	102%	14,907	16,099	108%	3,954	3,356	85%	16,213	13,981	86%	2,318	2,671	115%	9,160	10,020	109%
		④収入計	5,634	6,488	-	23,207	26,742	-	4,036	4,126	-	14,907	16,099	-	3,954	3,356	-	16,213	13,981	-	2,318	2,671	-	9,160	10,020	-
	支出	人件費（職員等）	3,537	6,676	189%	14,150	14,323	101%	1,690	2,101	124%	6,766	7,707	114%	1,931	1,436	74%	7,721	6,820	88%	1,572	704	45%	6,288	6,632	105%
		運営管理費	1,469	3,405	232%	5,727	8,296	145%	864	574	66%	3,286	3,387	103%	835	904	108%	3,433	3,571	104%	574	629	110%	2,234	2,226	100%
		⑤支出計	5,006	10,081	-	19,877	22,619	-	2,554	2,675	-	10,052	11,094	-	2,766	2,340	-	11,154	10,391	-	2,146	1,333	-	8,522	8,858	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	628	-3,593	-	3,330	4,123	-	1,482	1,451	-	4,855	5,005	-	1,188	1,016	-	5,059	3,590	-	172	1,338	-	638	1,162	-
⑦収支（③+⑥）		634	-2,391	-	3,639	4,451	-	1,476	515	-	5,014	5,252	-	1,188	1,016	-	5,059	3,590	-	172	1,338	-	638	1,162	-	

科目			事業所 合計					
			1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率
就労支援事業等収支	収入	事業収入	7,980	7,942	100%	32,235	33,870	105%
		①収入計	7,980	7,942	-	32,235	33,870	-
	支出	材料費	1,627	1,784	110%	7,184	8,724	121%
		労務費（社員等）	4,834	4,989	103%	18,328	17,968	98%
		事業経費	1,519	903	59%	6,255	6,603	106%
		②支出計	7,980	7,676	-	31,767	33,295	-
③収支差額小計（①-②）		0	266	-	468	575	-	
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	15,942	16,641	104%	63,487	66,842	105%
		④収入計	15,942	16,641	-	63,487	66,842	-
	支出	人件費（職員等）	8,730	10,917	125%	34,925	35,482	102%
		運営管理費	3,742	5,512	147%	14,680	17,480	119%
		⑤支出計	12,472	16,429	-	49,605	52,962	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	3,470	212	-	13,882	13,880	-
⑦収支（③+⑥）		3,470	478	-	14,350	14,455	-	

おくえつ事業所 令和3年度 事業報告

所長：山品 光央

	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	グループホーム
事業計画	<p>① 食品加工において水道費の削減目標を前年度対比マイナス10%として、職員と利用者が共通の意識で取り組めるよう朝礼時の声掛けや作業場内に注意喚起の表示をし、経費削減に努める。</p> <p>② 奥越圏域において営業活動を月に2回以上行い、食品加工商品の新規取引先2件以上獲得する。</p>	<p>① 利用者が安定して作業できる様に作業工程表を作成し不良ゼロを継続する。</p> <p>② セルフ商談会などを利用して新規受託作業1件獲得する。</p>	<p>① 利用者が穏やかに通所できるように一人ひとりの支援手順書を作成してニーズに沿ったサービスを提供する事で出席率を上げる。 目標：平均利用者数7.0人/日(令和2年度平均利用者数6.7人)</p> <p>② 定員を充足するため見学・実習を積極的に受け入れる。 目標：見学3件以上・実習2件以上(令和2年度：見学2件、実習1件)</p>	<p>① A型利用者に向けて面談時に体験利用を促進する。また余暇支援を月に1回実施し、充実した寮生活が送れるようなサービスを提供する。</p> <p>② 寮敷地内と合わせて周辺の清掃及び美化活動を行う。(年間4回)</p>
令和3年度の取組・状況	<p>① 豆腐商品を前倒しで製造し、定休日以外に稼働しない日を月に1回以上設け、節水に努めた事で昨年度対比マイナス34%となった。 令和2年度1,824千円 令和3年度1,206千円</p> <p>② 月に2回の営業活動は実施出来ずに年間10件となってしまうがマックスバリュとの取引を7月から開始する事が出来た。豆腐商品の製造請負については自社製品の製造に追われ進展しなかった。</p> <p>〈就労支援事業収入〉予算対比1,624千円 食品加工において不確定なという事もあり、あげフェスでの売上げやもち米売上を予算に計上していなかった事と10月にトヨタ工場の生産停止の影響を受けたが上期の受注が好調だったため。</p> <p>〈就労支援事業支出〉予算対比 2,040千円 事業収入と同様にイベントの材料費ともち米を材料費として予算に計上していなかったため。</p>	<p>① 作業手順書に加え、朝礼、終礼時での声掛けを実施し、年間不良品ゼロを達成。</p> <p>② 11月よりDVDケースのクリーニング作業の受託を開始した。11月当初は3名の利用者しか従事できず月に1万円も満たない売上だったが現在は9名中5名の利用者が従事できるように3月の売上は12,000円となった。</p> <p>〈福祉事業収入〉予算対比 1,192千円 所外活動とは出来なかったが、自動車組付け作業の受注が少なくなった時でも新規作業を提供するなど就労意欲の向上に努めることで出勤率の向上に務めた。出勤率97%、平均工賃20,029円</p>	<p>① 個別の支援手順書は完成した。7月に1名が退所したがその後、補充は出来ていない。 目標：平均利用者数7.0人/日 実績：令和3年度6.5人/日</p> <p>② 目標：見学3件以上・実習2件以上 ② 実績：見学4件 ・実習0件</p> <p>〈福祉事業収入〉予算対比△2,232千円 1名の新規利用者獲得に取組んだが年度内での新規の契約には結びつかなかった。1名の利用者が12月ごろより不安定になり欠勤が続いたため。</p>	<p>① 体験の利用もなく、新規利用者の獲得は出来なかった。12月から2月までの冬季期間中、食品加工利用者が利用。 令和3年度 5.1人/日 令和2年度 5.1人/日</p> <p>② 玄関前、駐車場周辺の除草を5回/年実施。</p> <p>〈福祉事業収入〉予算対比 860千円 休日実家へ帰宅していた利用者をコロナ感染対策として帰省を停止していたことで増収となる。</p>
今後の取組み	<p>① 節水の取組みを引き続き継続して行う。</p> <p>② 請負製造については請負元と品質の調整などを協議し実施する。</p> <p>③ 福井県よろず支援拠点を活用する。商品の持ち味を活かし、新規顧客確保や販路拡大を行う。</p>	<p>① 手順書や工程表を順守して不良品ゼロを継続する。</p> <p>② 新規受託作業は1件、確保できたが自動車部品組付け作業の受注も安定しない事から、更に新規受託作業の確保にする。目標平均工賃23,000円以上。</p>	<p>① 作成した支援手順書の活用と見直し</p> <p>② 継続して相談支援専門員、自立支援協議会と連携して定員充足に努める。見学者の内、1名が実習希望の為、利用に繋げる。</p>	<p>① GHの利用が良いと思える利用者をピックアップし、保護者を含めた面談等を継続して行い、利用を促す。通年利用できる利用者の確保。</p> <p>② 年間で予定を計画して実施する。</p>

あわら事業所 令和3年度 決算報告

所長：幅口 岳晴 単位：千円

科目			就労継続支援A型					就労継続支援B型					介護系（相談含む）					グループホーム								
			1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率
就労支援事業等収支	収入	事業収入	3,845	1,867	49%	18,709	19,992	107%	3,758	5,598	149%	15,971	16,213	102%												
		①収入計	3,845	1,867	-	18,709	19,992	-	3,758	5,598	-	15,971	16,213	-												
	支出	材料費	184	185	101%	869	963	111%	1,827	1,988	109%	8,650	8,997	104%												
		労務費（社員等）	3,324	3,007	90%	12,983	12,398	95%	975	1,262	129%	3,900	4,490	115%												
		事業経費	552	2,221	402%	2,013	3,362	167%	697	974	140%	3,076	2,828	92%												
		②支出計	4,060	5,413	-	15,865	16,723	-	3,499	4,224	-	15,626	16,315	-												
③収支差額小計（①-②）		-215	-3,546	-	2,844	3,269	-	259	1,374	-	345	-102	-													
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	4,576	4,632	101%	18,657	18,806	101%	5,632	7,285	129%	23,306	30,136	129%	3,205	2,657	83%	14,249	11,458	80%	1,402	1,553	111%	5,570	5,432	98%
		④収入計	4,576	4,632	-	18,657	18,806	-	5,632	7,285	-	23,306	30,136	-	3,205	2,657	-	14,249	11,458	-	1,402	1,553	-	5,570	5,432	-
	支出	人件費（職員等）	2,682	2,852	106%	10,457	9,990	96%	3,287	3,910	119%	12,971	13,153	101%	2,607	2,896	111%	10,293	8,177	79%	603	1,228	204%	2,232	3,792	170%
		運営管理費	847	1,033	122%	4,329	4,162	96%	1,306	1,178	90%	6,571	5,021	76%	808	790	98%	4,143	3,321	80%	811	894	110%	3,257	3,226	99%
		⑤支出計	3,529	3,885	-	14,786	14,152	-	4,593	5,088	-	19,542	18,174	-	3,415	3,686	-	14,436	11,498	-	1,414	2,122	-	5,489	7,018	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	1,047	747	-	3,871	4,654	-	1,039	2,197	-	3,764	11,962	-	-210	-1,029	-	-187	-40	-	-12	-569	-	81	-1,586	-
⑦収支（③+⑥）		832	-2,799	-	6,715	7,923	-	1,298	3,571	-	4,109	11,860	-	-210	-1,029	-	-187	-40	-	-12	-569	-	81	-1,586	-	

科目			事業所 合計					
			1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率
就労支援事業等収支	収入	事業収入	7,603	7,465	98%	34,680	36,205	104%
		①収入計	7,603	7,465	-	34,680	36,205	-
	支出	材料費	2,011	2,173	108%	9,519	9,960	105%
		労務費（社員等）	4,299	4,269	99%	16,883	16,888	100%
		事業経費	1,249	3,195	256%	5,089	6,190	122%
		②支出計	7,559	9,637	-	31,491	33,038	-
③収支差額小計（①-②）		44	-2,172	-	3,189	3,167	-	
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	14,815	16,127	109%	61,782	65,832	107%
		④収入計	14,815	16,127	-	61,782	65,832	-
	支出	人件費（職員等）	9,179	10,886	119%	35,953	35,112	98%
		運営管理費	3,772	3,895	103%	18,300	15,730	86%
		⑤支出計	12,951	14,781	-	54,253	50,842	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	1,864	1,346	-	7,529	14,990	-
⑦収支（③+⑥）		1,908	-826	-	10,718	18,157	-	

	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	相談支援	グループホーム
事業計画	<p>① 新規事業（空き家管理等）の顧客確保に向け、あわら市の広報誌へ、年に4回程度広告を掲載する。</p> <p>② 2部門（リサイクル・施設外就労）での事業編成で、両部門とも従事可能利用者は現在6名である。事業の効率化、および人員不足時の体制を構築するためにも、さらに2名の両部門従事者育成を行う。</p>	<p>① 軍手・ウエス部門を就労継続支援A型から完全移行。平均工賃25千円以上を目標に、材料費削減に取り組む。主にウエス加工の材料費率を現在の72%から67%にし、年間30万円の削減を目指す。</p> <p>② 事業所内で安心して過ごせるよう毎週1回、ヒヤリハット活動や勉強会を行う。また、その際、所外活動などについての意見を確認する機会も設け、より利用者の要望がくみ取れるように取り組む。</p>	<p>① 活動プログラムの充実を目指し、外部講師を迎えての活動を毎月1回以上実施するとともに、多様なニーズに応えられるよう、新たに、工賃が支給できる活動を1つ以上導入するなど活動の充実に取り組む。</p>	<p>① 業務内容を3ヶ月に1度、チェックシートを用いて自己評価を実施する。振り返りを行い、サービスの質の向上につなげていく。</p>	<p>① 月1回、個別支援計画に関する面談を実施。ニーズや、今後の暮らしについてのビジョンを把握する。また、今後必要なスキル習得に向けた支援を実施する。</p>
令和3年度の取組・状況	<p>① あわら市広報誌(11,000件)へ6、8、9、12月に掲載を実施(累計4回)。受注などの反応はなかった。ふるさと納税登録手続きを実施。</p> <p>② リサイクル部門から施設外就労従事者2名の育成を予定していたがリサイクル事業が繁忙の為、1名の実施となった。1名が従事可能となった事で両部門従事可能利用者が7名となった。</p> <p>〈事業収入〉 予算比131%。 ・リサイクル部門(予算比139%) 予算時95円/kgであったアルミ販売単価が、175円/kg以上で大きく予算を超えた。</p> <p>・施設外就労部門(予算比103%) ほぼ予算どおりの作業受注が出来ている状況。10月から最低賃金増額に伴い交渉を実施。作業単価3%UP。</p>	<p>① ウエス商品の仕入れ先の変更を実施し、材料費率65%。新たな取引先も2件増え、平均工賃は25千円を達成。</p> <p>② 毎週、月曜日の朝礼時にヒヤリハット活動を実施した。活動を継続する事で利用者か積極的に意見が聞かれ、安全への意識が高まった。また、就労意欲の向上の為に工賃についての勉強会を実施したが1回だけの実施となった為、大きな効果は無かった。</p> <p>〈事業収入〉 予算比102%。 ・軍手事業について、顧客数の減少により予算対比93%となった。ペットボトル事業については入荷量の増加に伴い、利用者の配置を見直した事で出荷量も増加し、予算対比122%となった。</p> <p>〈労務費〉 予算比115%の進捗。 ・現員13名の予定だったがA型からの移行により2名増員となった。</p>	<p>① 毎月1回、音楽活動を実施。また、工賃が支給できる活動については、内職作業を導入したが利用者には難しかった為、工賃の支給までは至らなかった。利用者の様子を見ながら検討を続ける。</p> <p>〈障害福祉サービス等事業収入〉 予算比91%。 ・10月に利用者1名が急逝。新規利用の獲得が2月となってしまった為、達成出来なかった。</p> <p>〈人件費〉 予算比79%の進捗。 ・当初予算時2名の配置で計上したが、1名配置となったため。</p>	<p>① 相談支援振り返りシート(日本相談支援専門員協会)を用いて自己評価を実施し、振り返りを行い意識の向上を行った。その他、地域の相談支援連絡会で、事例提供を実施した。他法人相談員との意見交換などを行い、支援手法を学んだり、支援で行き詰まりがあった時には助言を頂き、計画やサービスの提供に活かせた。</p> <p>〈障害福祉サービス等事業収入〉 予算比65% ・当初予算時、利用者83名分で計上していたが、昨年度末相談支援専門員の退職があり一部ケースを外部へ移管したため予算未達。 現員48名</p>	<p>① 寮で毎月1回、サービス管理責任者とのモニタリング実施。こまやかなニーズの把握を行い、必要な支援の検討を行った(余暇の提供、お小遣い使用の助言、書類作成などの補助など)。</p> <p>〈障害福祉サービス等事業収入〉 予算比81% ・週末帰宅者の平日祝日時の利用を促し実施した。2月より1名が新規利用開始した。</p> <p>〈人件費〉 予算比194% ・法律上の配置基準に沿って計上を行った為、当初予算と誤差が生じた。</p>
今後の取組み	<p>①リサイクル：空家管理事業での顧客確保。広報誌掲載を継続して実施する事と当法人IT委員会も活用する。個人宅の清掃や片付け作業にも取り組む。</p> <p>②施設外就労でのミスゼロを継続する。スポットでの受注はあるが受注量に対応出来ていない為、リサイクル、施設外就労両部門従事者を中心に対応し、収入増に繋げる。また、スポット受注に対応しきる事で新規の受注に繋げる。</p>	<p>①新たな安価商品の販促活動(DM準備)を行い、材料費率削減に引き続き取り組み、平均工賃25千円以上を目指す。</p> <p>②毎週のヒヤリハット活動の継続と環境改善を実施する。感染症、事故ゼロで、利用者の方々が毎日来なくなる事業所作り。</p>	<p>①作業活動の導入に向け、内職作業を実施した。利用者とは適合しなかったが活動プログラムの1部として実施できる様に工程の見直しを実施する。</p> <p>・新たな活動内容の導入を検討し、活動プログラムの充実を行う。</p>	<p>①相談支援振り返りシートの内容を確認しながら、日々の業務に取り組む。また、地区の基幹相談事業所や法人内での連絡会と連携を図り、支援の質の向上を図る。</p> <p>・相談員の配置を1名から2名に体制を強化し、新規利用者確保に務める。</p>	<p>①金銭、書類、清掃など、今後の暮らしを考えた支援の実施する。</p> <p>・感染対策を十分に実施し、過ごしやすい生活の場を提供する。</p> <p>・利用者の確保に向け、法人内事業所への情報提供等を実施する。</p>

小浜事業所 令和3年度 決算報告

所長：近者 篤 単位：千円

科目			就労継続支援A型					就労継続支援B型					介護系（相談含む）					グループホーム							
			1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行
就労支援事業等収支	収入	事業収入																							
		①収入計																							
	支出	材料費																							
		労務費（社員等）																							
		事業経費																							
		②支出計																							
③収支差額小計（①-②）																									
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入											15,782	15,251	97%	64,174	62,653	98%	4,414	4,682	106%	18,320	18,967	104%	
		④収入計											15,782	15,251	-	64,174	62,653	-	4,414	4,682	-	18,320	18,967	-	
	支出	人件費（職員等）											8,355	8,316	100%	33,916	29,346	87%	1,992	2,482	125%	8,013	9,725	121%	
		運営管理費											3,390	2,887	85%	13,656	11,910	87%	1,072	1,311	122%	4,476	3,832	86%	
		⑤支出計											11,745	11,203	-	47,572	41,256	-	3,064	3,793	-	12,489	13,557	-	
		⑥収支差額小計（④-⑤）												4,037	4,048	-	16,602	21,397	-	1,350	889	-	5,831	5,410	-
⑦収支（③+⑥）												4,037	4,048	-	16,602	21,397	-	1,350	889	-	5,831	5,410	-		

科目			事業所 合計					
			1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率
就労支援事業等収支	収入	事業収入						
		①収入計						
	支出	材料費						
		労務費（社員等）						
		事業経費						
		②支出計						
③収支差額小計（①-②）								
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	20,196	19,933	99%	82,494	81,620	99%
		④収入計	20,196	19,933	-	82,494	81,620	-
	支出	人件費（職員等）	10,347	10,798	104%	41,929	39,071	93%
		運営管理費	4,462	4,198	94%	18,132	15,742	87%
		⑤支出計	14,809	14,996	-	60,061	54,813	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）		5,387	4,937	-	22,433	26,807
⑦収支（③+⑥）		5,387	4,937	-	22,433	26,807	-	

	生活介護	グループホーム
事業計画	<p>① 利用者の意思決定と権利擁護を重視して出来る限り活動を選択できるようにし、個々の課題を設定することで、充実した活動提供を目指す。 個別支援計画の充実については、ケース検討会で順次計画を見直していき数値目標を設定していく。個人目標シート（支援計画の目標に対してシールを貼るなどし利用者が見て分かりやすくしたもの）を水平展開し更なる充実を図る。 ＜個別課題の設定、個人目標シートの作成＞</p> <p>② 施設改善箇所や活動の様子など、サービス提供の実績を写真で発信し、利用者や職員はもとより、関係機関（特別支援学校・行政・相談支援等）や保護者に情報発信し、利用者増、利用促進の働きかけを行う。 ＜関係機関訪問 年2回以上、保護者への活動写真配布 年4回以上＞</p>	<p>① 土日希望制により、寮の受入れにより余暇活動にクッキングの取り入れや地域行事への参加を促し、寮生活の充実を図る。 併せて、支援体制充実のため、職員の配置転換等により体制強化をする。 ＜土日希望制 月2回＞</p> <p>② 美化と清潔で快適な寮を維持すると共に、避難訓練を重ねて災害時対応を充実させる。＜避難訓練 年6回＞</p>
令和3年度の取組・状況	<p>① 毎月の所内会議等でケース検討を行い、個別支援計画への反映を行い内容の充実を図ってきた。個人に応じた活動内容に見直したり、個別の課題や軽作業を3種増やすなど、個々の支援に力を入れてきた。また、構造化や利用者が自ら選択できる機会（朝礼時や活動開始時等）を増やすことに意識して取組みを進めてきたが、まだまだ不十分な状況である。 個人目標シートを上期2名、下期4名に導入を増やすことができ、少しずつではあるが、利用者が支援計画の目標達成率が見えるように取り組んでいる。 また、利用者数については、年間延べ目標が5,596名に対し実績5,446名と97.3%の達成率ではあったが、1日平均は20.3名となり定員を満たした。コロナによる影響で他施設併用利用者の制限など、年間を通して月によって目標利用者数との増減が多くあった。</p> <p>② 特別支援学校や相談支援事業所等の関係機関訪問を年2回実施。施設巡回は不定期な実施となり計画どおりとは行かなかったが、必要に応じて都度改善を行ってきた。利用者の活動の様子を写真で保護者に情報発信を年4回実施することが出来た。</p>	<p>① 土日希望制は、月2回平均で継続して行ってきた。土日の余暇活動については、人混みを避け所外の活動も徐々に再開しながら、公園等へのお出かけや青空弁当など寮生がリフレッシュできるよう努めてきた。9月にはクッキングも実施できた。夜間体制や将来計画の課題について、案を作成し検討を進めてきたが課題も多い為、継続して検討する。 2月に寮生1名が他法人入所施設への移行し、定員7名に対し現在6名在寮となった。これにより1月あたり約180千円の給付費減となったが、令和3年度に於いては支援区分や加算の増により年間約640千円の増収となった。</p> <p>② 寮内の清掃の徹底や、寮回りの草むしりなどを実施し環境美化に努めてきた。 避難訓練は、計画どおり実施できた。火災の避難訓練では非常ベルの音が苦手な寮生2名が参加できないなど課題もある。</p>
今後の取組み	<p>① 個別支援計画に数値目標を入れるよう意識して作成するよう努めているが、まだ思うように数値化が出来ていない。今後、更に出来る限り数値化するよう計画作成時に見直しをしていく。 個人目標シートが現在32名中9名に導入。令和4年度は更に拡充を進めていく。</p> <p>② 施設巡回が年3回しか実施できなかったため、令和4年度は年4回以上実施し施設の不備箇所がないかの確認を行う。また、写真での保護者発信も継続的に取り組んでいく。</p>	<p>① 土日希望制を継続するとともに、夜間体制を充実させるための見直しや、将来計画の策定も継続して検討していく。 余暇活動の面では、コロナが落ち着いてきたら地域ボランティアに協力していただく活動など、充実した活動を取り入れていく。 また、世話人退職などで支援体制に課題がある為、令和4年度中に補充などし改善に努める。</p> <p>② 引き続き美化に努めると共に、避難訓練の継続的な実施により、課題の洗い出しと改善に努める。 建物の床面（フローリング）に劣化が目立つようになってきたので、令和4年度に修繕を検討する。</p>

丹南事業所 令和3年度 決算報告

所長：高木 正人

単位：千円

科目	就労継続支援A型							就労継続支援B型						介護系（相談含む）						グループホーム					
	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率	
就労支援事業等収支	収入	事業収入	3,740	3,527	94%	18,240	16,073	88%	2,585	2,283	88%	7,520	7,371	98%											
		①収入計	3,740	3,527	-	18,240	16,073	-	2,585	2,283	-	7,520	7,371	-											
	支出	材料費	1,403	1,551	111%	7,531	7,365	98%	39	3	8%	1,474	1,447	98%											
		労務費（社員等）	3,689	3,828	104%	17,671	15,306	87%	784	1,017	130%	2,517	2,958	118%											
		事業経費	1,056	1,249	118%	5,058	5,258	104%	609	542	89%	1,955	1,673	86%											
		②支出計	6,148	6,628	-	30,260	27,929	-	1,432	1,562	-	5,946	6,078	-											
	③収支差額小計（①-②）	-2,408	-3,101	-	-12,020	-11,856	-	1,153	721	-	1,574	1,293	-												
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	5,115	5,505	108%	30,276	23,467	78%	4,896	5,712	117%	15,600	23,358	150%											
		④収入計	5,115	5,505	-	30,276	23,467	-	4,896	5,712	-	15,600	23,358	-											
	支出	人件費（職員等）	3,693	3,548	96%	15,287	13,618	89%	2,131	3,664	172%	8,523	12,241	144%											
		運営管理費	981	1,565	160%	3,923	3,608	92%	726	866	119%	2,902	3,318	114%											
		⑤支出計	4,674	5,113	-	19,210	17,226	-	2,857	4,530	-	11,425	15,559	-											
		⑥収支差額小計（④-⑤）	441	392	-	11,066	6,241	-	2,039	1,182	-	4,175	7,799	-											
	⑦収支（③+⑥）	-1,967	-2,709	-	-954	-5,615	-	3,192	1,903	-	5,749	9,092	-												

科目	事業所 合計							
	1-3月予算	1-3月執行	第4四半期達成率	年間予算	年間執行	年間予算達成率		
就労支援事業等収支	収入	事業収入	6,325	5,810	92%	25,760	23,444	91%
		①収入計	6,325	5,810	-	25,760	23,444	-
	支出	材料費	1,442	1,554	108%	9,005	8,812	98%
		労務費（社員等）	4,473	4,845	108%	20,188	18,264	90%
		事業経費	1,665	1,791	108%	7,013	6,931	99%
		②支出計	7,580	8,190	-	36,206	34,007	-
	③収支差額小計（①-②）	-1,255	-2,380	-	-10,446	-10,563	-	
福祉事業等収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	10,011	11,217	112%	45,876	46,825	102%
		④収入計	10,011	11,217	-	45,876	46,825	-
	支出	人件費（職員等）	5,824	7,212	124%	23,810	25,859	109%
		運営管理費	1,707	2,431	142%	6,825	6,926	101%
		⑤支出計	7,531	9,643	-	30,635	32,785	-
		⑥収支差額小計（④-⑤）	2,480	1,574	-	15,241	14,040	-
	⑦収支（③+⑥）	1,225	-806	-	4,795	3,477	-	

	就労継続支援A型	就労継続支援B型
事業計画	<p>① 福井県立科学技術高等学校購買において、高校生が購入したいと思える商品開発及び販売を行い、売上を8千円/回から1万5千円以上になるよう取り組む。また、米粉やおからを使用した付加価値のあるパンやクッキー等の商品開発に取り組み、2社以上の販売先の獲得を目指す。</p> <p>② 作業を固定化せず、それぞれが新しい作業ができるよう個別の支援をしていき、すべての利用者が1種以上新たな作業を習得できるようにする。 また、パンの販売、納品の一部を車の運転できる利用者へ移行し、作業の幅を広げていく。</p>	<p>① 月1回行っていたレクリエーションを月2回とし、現在のレクリエーションに加え、生活面での自立にむけての活動を行う。</p> <p>② 企業等への営業を毎月1社以上行い、新たな軽作業を確保し平均工賃3万円以上を目指す。</p>
令和3年度の取組・状況	<p>① 学生からの要望を聞き、製造販売を行った結果、平均1万円～1万3千円/回であった。米粉やおからを使用した商品開発は品質管理が難しく商品開発までは至らなかった。新規販売先について2社獲得を行うことができた。1つ目が、10月より福井市役所でパン販売（火曜日のみ）を行い6万円/月の収入増となった。2つ目が、同所内の購買にパンの納品（月・木曜日）を開始することができ、5万円/月の収入増となった。さらに、藤島高校で土曜日にパン販売を行っていった結果、令和4年度より平日（月～金）パン販売を行えるようになった。（30万円/月の売上見込み）</p> <p>② 新たな作業の習得に関しては、11人中9名習得することができた。特にパンの焼成作業では、利用者にわかりやすいマニュアルを作成し、1名から3名できるようになった。また、車の運転ができる利用者が2名おり、パン販売及び納品時の留意点を一覧表にし、支援員とパン販売を繰り返し行った結果、0人から2人販売と納品を行えるようになった。</p> <p>事業収入について、年間予算17,696千円に対して、実績16,073千円となる。（達成率91%）減収の要因として、越前夢工房様からの受注が予算3,066千円に対して実績1,494千円になったことや、科学技術高校のパン販売のない春休みや夏休みの期間に、新規で販売先を獲得できなかったことが減収の要因と考えられる。</p>	<p>① コロナウイルス感染防止のため外部へのレクリエーションは感染拡大防止のため中止している。生活面での自立にむけてのレクリエーションでは、所内で調理関係のレクリエーションを2回実施した。</p> <p>② 毎月1社以上営業を行うことはできなかった。12月に鯖江市のホブニック研究所様へ営業に行き、箱折作業を獲得することができた。（5万円/月の売上見込み）平均工賃3万円以上を今年度の目標とし、新規作業の獲得を行うことができたが、前田工織様の受託作業で予算2,640千円に対して、実績2,283千円となり、令和3年度と同額の平均工賃2万5千円となった。</p>
今後の取組み	<p>① 今後も学生や先生等から要望を聞き取り、1回あたりの平均売上1万5千円以上を目指していく。令和4年度も新規販売先を2社以上増やせるよう月1回以上営業をおこなっていく。</p> <p>② パンの成形から焼成作業まで利用者全員ができるように、支援員が工程毎の作業マニュアルを作成していく。また、事務作業（発注・在庫管理・売上入力等）も習得できるよう支援していく。</p>	<p>① 今後のレクリエーションについては、年2回までとし、工賃向上にむけて取り組んでいく。</p> <p>② 平均工賃3万円以上獲得できるよう、今後も既存の受託先や福井市、鯖江市内の企業に営業を2ヶ月に1回以上行っていく。また、治具や作業手順書を作成し、障がいの重い方でもできる作業を増やし工賃向上を目指していく。</p>